

# 板橋リハビリ訪問看護ステーションで

## 訪問看護・訪問リハビリテーションを受けた利用者様へ

当事業所では下記の調査を実施しております。本調査の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	訪問リハビリテーション利用者における終了となる疾患や状態に関する実態調査
当事業所の研究責任者	大沼剛 小暮英輔
他の研究機関および各施設の研究責任者	国際医療福祉大学 保健医療学部 准教授 原毅
本研究の目的	本調査は当事業所で訪問リハビリテーションを受けている利用者様が訪問リハビリテーションを終了してしまう要因を疾患や状態変化に着目し、後方視的に調査し、実態を明らかにすることを目的としております。
調査データ 該当期間	2005年9月～2022年までの情報を対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	○対象となる利用者様 上記期間内に当事業所で訪問リハビリテーションを受けたことがある利用者様 ○利用する情報 診療録に記載のある診療記録および検査データより、背景因子（年齢、性別、身長、体重、body mass index、疾患名、併存症、要介護度、投薬状況、訪問看護・訪問リハビリテーション依頼内容）、疾患による重症度（麻痺所見やがんの進行度など）、リハビリテーション内容、終了時の理由（入院や逝去など）、運動機能（基本動作能力、筋力、バランス、歩行速度など）や日常生活活動、社会的因子について調査します。
試料/情報の 他の研究機関への提供	上記の「他の研究機関・研究責任者」へ提供致します。その際、利用者様が特定できないよう匿名化した状態で、紙およびCDROMの媒体で研究担当者に郵送せず、手渡し致します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名などの利用者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も利用者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	03-5943-3151 (9時～18時) 研究担当者：大沼剛 小暮英輔 Mail: <a href="mailto:itareha@reha-progress.co.jp">itareha@reha-progress.co.jp</a>
備考	